

平成24年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	九州大学
申 請 区 分	Ⅱ
構 想 名	スパイラル型協働教育モデル：リーガルマインドによる普遍性と多様性の均衡を目指して
<p>〔評価コメント〕</p> <p>本構想は、これまでのLL.M. (Master of Laws) やYLP (Young Leader's Program) の経験を基に、学部生にリーガルマインドを涵養するプログラムを設定し、また修士レベルでのダブルディグリープログラムを設定しASEANと日本の架け橋となる法律の専門家を育成しようとする意欲的なプログラムである。法学の分野については、国際的な視点や経験を積ませるプログラムが少なく、先導的なプログラムとして注目したい。内容としては、個々のプログラムをスパイラル型としてまとめ上げ、学生の成長段階についても配慮した教育的な構想であることが評価できる。協力校の選定もこれまでの実績を基になされ、合理性がある。初年度から学生交流が開始されるなど、実効性があり、中間評価までにある程度の成果が期待できる。また、資金計画共に実現性が非常に高いプログラムである。</p> <p>しかしながら、SEND の部分については検討が必要な部分(理念・内容)があり、早急に九州大学(法学部)のディプロマポリシーに基づいたプログラムの位置づけ、それに沿ったカリキュラム開発をする必要がある。また、協定校との短期派遣・受け入れについて十分な説明がなされていないので、その点についても早急に具体的な案を検討されたい。また、将来的に協力校をどのように拡大するのか、ある程度運用評価をしたところで検討が必要である。</p> <p>最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人財」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	